

北海道更別農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	・各学科各コースの特色を活かした農業学習を推進するとともに農業クラブ活動を通して、職業人としての資質向上をはかり社会に必要とされる人材育成を行います。	B	・再編成した教育課程に則った教育活動を実践する。 ・農業クラブ三大事業の取り組みを充実させる。 ・資格取得を充実させ、生徒一人ひとりに合った進路実現を目指す。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に参加し、世界中の課題やソリューションを共有します。 ・JICA北海道と連携し、異なる国の農業や文化に触れ、世界と日本について考えます。	A	・三菱MIRAI万博に参加して、更別農業高校の取り組みを全世界に発表する。 ・英語科と連携し外国語による表現力を養う。また、世界の多様な農業経営や食文化について学ぶ。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	・地域の産業や環境の特徴を理解し地域に根ざした学習活動を進めます。 ・インターンシップにより職業観を育成するとともに、関係機関と連携し農業にかかわる人材育成を目指します。	A	・十勝型農業を学び、持続可能な農業経営の担い手としての資質を高める。 ・農業改良普及センターや農業関連産業、地域の農家やOBなどと連携を図り学習を進める。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	・地域の特産品および資源を教材としたプロジェクト活動をとおして、食品関連企業等と連携を深めます。	A	・地元企業と連携し、学校生産物を活用して新たに開発したレトルトカレーを販売する。 ・知的財産を考慮した商品開発をとおして、6次産業化について学習する。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	・地域の基幹産業である畑作・畜産の学習をとおして、農業を起因とする環境問題について学びます。 ・圃場の輪作体系を考慮し、緑肥作物（ひまわり）を栽培します。	A	・ICT機器を活用し、環境に負荷をかけない農業経営を実践する。 ・緑肥や堆肥を活用し、循環型農業を実践する。 ・JGAP（農産・畜産）の継続により、持続可能な農業を実現する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	・地域資源を活用した加工品開発と地域イベントへの参加で、地域に貢献する活動を行います。 ・草花栽培をとおした交流学习を行います。	A	・地域の特産物を活用した商品開発に取り組み、イベントに参加し交流する。 ・幼稚園、小学校、シニア世代、中高養との花壇造成を行う。花コミュニケーションとかちと花フェスタ札幌に出品する。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	・作物栽培と家畜飼育において、ICT技術を活用したスマート農業について学習を行います。	A	・自動操舵トラクターで圃場管理を行う。 ・農業用ドローンを用いて農薬散布や作物の生育診断を実施する。 ・牛群管理機器を活用し、効率的な飼養管理を実践する。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	・常に防災意識を持ち、不測の事態に冷静に対応できる態度を育てます。	A	・防災学校を実施し、炊き出し訓練や防災講話を通して防災意識を高める。